

薬学教育協議会 衛生薬学教科担当教員会議 2025（令和7）年度活動報告

【第20回 薬学教育協議会 衛生薬学教科担当教員会議 議事録】

1. 日 時：令和8年2月27日（金）15時00分～17時30分〔受付：14時30分より〕

2. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

3. 出席者：100名（69大学）（情報交換会：70名 17時45分～20時00分）

4. 議 題：

薬学教育に関する最近の話題として、まずコアカリキュラム「衛生薬学」ワーキンググループメンバーである原俊太郎先生（昭和医科大学 教授）より、「改訂モデルコアカリキュラムに対応した薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」および「薬学実践実習に関する指針」について説明があり、その後、意見交換が行われた（資料1）。

引き続き、講演1及び2において「衛生薬学」の基幹をなす「公衆衛生」および「栄養・食品衛生」のトピックスとして、「感染症の予防策・まん延防止対策」ならびに「栄養」に関する講演を聴講し、意見交換が行われた。

講演1では、「E-1 人の健康を脅かす感染症の予防とまん延防止」をテーマに、國島広之先生（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授）より、ワクチン接種や人獣共通感染症対策、薬剤耐性対策等の重要性について解説があった（資料2）。

講演2では、「E-2 健康の維持・増進につながる栄養と食品」をテーマに、齋藤あき先生（厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 栄養指導室 室長補佐）より、日本人の食事摂取基準（2025年版）の策定方法や考え方、活用法等について説明があった（資料3）。

最後に、新コアカリキュラムへの対応に伴う改訂において、衛生薬学実習書「必携・衛生試験法（第4版）」に新たに追加された薬毒物試験法の活用等について、沼澤聡先生（昭和医科大学 教授）より説明があった（資料4）。

その他、下記連絡事項がアナウンスされた。

- ①第111回薬剤師国家試験問題検討委員会は、5月9日に岩手医科大学 杉山晶規先生が委員長としてホテルメトロポリタン盛岡本館にて開催される。
- ②フォーラム2026：衛生薬学・環境トキシコロジーは、8月18日～19日まで北里大学 今井浩孝先生が実行委員長として北里大学（白金）で開催される。
- ③環境・衛生部会では、学術賞および金原賞の授賞候補者を募集しており、推薦を受け付けている（学術賞・部会賞選考委員長 熊本大学 三隅将吾先生）

5. 配布資料：

- ①議事次第
- ②席次表
- ③参加者名簿
- ④講演資料

資料1 薬学教育に関する最近の話題（昭和医科大学 教授 原俊太郎）

資料2 感染症の予防・まん延防止（聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授 國島広之）

資料3 日本人の食事摂取基準（2025年版）について（厚生労働省 健康・生活衛生局健康課 栄養指導室 室長補佐 齋藤あき）

資料4 必携・衛生試験法—薬毒物試験法—の活用（昭和医科大学 教授 沼澤聡）

6. 幹事：小椋 康光（千葉大学）、川崎 直人（近畿大学）、神野 透人（名城大学）、角 大悟（徳島文理大学）、中西 剛（岐阜薬科大学）、原 俊太郎（昭和医科大学）、松沢 厚（東北大学）、香川 聡子（横浜薬科大学）

7. 次年度（令和8年度）委員長（世話人）：角 大悟（徳島文理大学）

以上

令和7年度 衛生薬学教科担当教員会議 委員長（世話人） 香川 聡子